

いすみスタイル.com

isumi-style

地球環境基金助成事業活動紹介 編

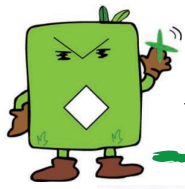


夷隅川流域の生物多様性を大切に、里山・里海を保全し、持続可能なまちづくりを目指す

私たち NPO 法人いすみライフスタイル研究所が活動しているまち、いすみ市は千葉県房総半島九十九里浜の下にあります。流域面積が千葉県最大、生き物の生息種類が日本有数の二級河川夷隅川が市内を流れ、この川によって、私たちは里山・里海の恵みをいただいています。当 NPO は、

2008 年設立以来、移住定住促進活動と地域の情報発信を行ってきましたが、地域の魅力の源とも言える地域資源、生物多様性を誇る夷隅川の環境保全活動を、2016 年度より地球環境基金の助成を受けて行ってきています（イラスト：夷隅川の流域と里山・里海の恵み）。





子どもたちに、地域の生き物の多様性と食物



【学びの場】

1. 小学校との協働

いすみ市には環境保全型農業の推進及び自然環境の保全・再生を通じた地域活性化を推進する組織「自然と共生する里づくり連絡協議会」があり、夷隅小学校5年生を対象に「教育ファーム」という取り組みを行っています。地域の生物多様性と食物連鎖を学び、田植えや稲刈り、田んぼの生き物観察などを行うこの活動に2018年度から積極的に協力しています。2018年にいすみ市内で開催された「第5回生物の多様性を育む農業国際会議2018」では、夷隅小学校5年生と「第13回日韓田んぼの生きもの調査交流会」を行い、「教育ファーム」で学んだことを紙芝居「たんぼでもぐもぐ」として制作、発表しました。2019年度は、いすみ市農林課と房総野生生物研究所の手塚幸夫氏の協力を得て、地域の生物多様性と食物連鎖を学ぶテキストを作り、市内の小学校に配布することを計画しています。

2. 中学校との協働

市内にある岬中学校2年生の総合学習で行われる太東海水浴場でのビーチクリーンに、清掃活動に必要な品物を毎年提供しています。また、2018年度には、いすみ市の環境の大切さを絵に表現した3年生の卒業制作に地元の画家に協力をお願いし、絵の具や筆なども提供しました。



3. 農園との協働

2019年度から、市内にあるオーガニック野菜を育てているSS農園、野菜ソムリエコミュニティちばの協力を得て、

連鎖についての学びと保全活動の場を提供



親子連れを主な対象にした食育イベント「オーガニック農園で野菜と生き物にふれよう」を開催しています。参加申し込みは当NPOまでご連絡ください。

【保全活動の場】

1. 夷隅川リバークリーン

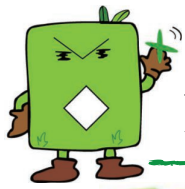
地域にとって重要な夷隅川のゴミ拾い活動を、いすみパドルクラブの協力を得て、SUP（スタンド・アップ・パドル）を使って毎月行っています。2016年度から行っているこの活動、最近親子での参加が増えてきています。子どもたちが楽しそうにゴミを拾いながら自然環境の大切さを肌で感じてくれています。参加、お問い合わせは、いすみパドルクラブ（0470-62-5073）、もしくは、当NPOまでご連絡ください。

2. ビーチクリーン

岬中学校2年生の総合学習以外にも、2016年度より「外

房ビーチスポーツフェスタ」でのビーチクリーンなど大原海水浴場や太東海水浴場で、海岸清掃活動を行ってきました（イラスト左ページ：米作り体験、オーガニック畑体験、紙芝居の上演の模様、右ページ：ビーチクリーンとリバークリーンの模様）。





大人にも、学びと保全活動の場を提供



【獣害対策などの勉強会】

夷隅川の荒廃の原因のひとつと言われているのが、耕作放棄地の増加です。この耕作放棄地を増やす要因のひとつにイノシシなど有害鳥獣による農作物被害です。この被害を減らすために、2016年度より農研機構の仲谷淳氏を講師に招いて集落で対策を行う勉強会を行ってきました。また、

2018年度には、農作物被害だけでなく人間への感染症の危険があるアライグマについての勉強会を獣医の加藤卓也氏を招き、市役所の獣害対策担当者や猟友会幹部対象に行ってきました。2019年度にはサル対策の勉強会も予定しています（イラスト：勉強会の模様）。



ニュースレター「isumi-style.com」2019年秋臨時増刊号 地球環境基金助成事業活動紹介編

発行日：2019年10月20日
発行者：NPO法人いすみライフスタイル研究所
〒299-4616 千葉県いすみ市岬町長者475
Tel：0470-62-6730 Fax：0470-62-6731
E-mail：isumi-style@bz03.plala.or.jp

発行人：高原和江
執筆・編集・DTP：江崎 亮
イラスト：清水京子（シミキョウ）

※右：このパンフレットは2019年度地球環境基金助成金の助成を受けて作成しました。
※左：いら研は、環境保全活動をはじめ、国連で採択された「SDGs（Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標-）」を視野に入れたまちづくりに取り組んでいます。

